

33.高松山（神奈川県西部 標高 801m）

高松山は丹沢山塊の南西に位置する801mの山です。新松田駅から山北行き、西丹沢自然教室行きの富士急行バスに乗車し高松山入口で下車します。少し趣向を変えて、御殿場線を利用して東山北駅で下車し尺里川（ひさがわ）の鳥もセットにして探鳥するのも楽しいでしょう。尺里川は護岸されていますが周辺には自然が残されているせいか、また適度に土も堆積しているカワセミ、セキレイ類、冬はタヒバリ、ツグミなども観察できます。

高松山入口バス停から東名高速の下を川沿い（尺里川）に歩くとセキレイ類が川に落ちた葉をひっくり返して虫を探している所を観察できるかもしれません。この川ではカワガラス、ジョウビタキ、ホオジロ、アオジなども観察できます。また、冬はスイセン、早春はウメ、4月はスミレ・ユリワサビ・サクラ、夏はネムノキなどの花も楽しめます。

高松山へ登るコースは、林道沿いに歩いて第六天から山頂へ行くコースもありますが、ここではピリ堂経由で行くコースを紹介します。

ミカン畑の手前にこのコースで唯一のトイレがあります。ミカン畑に囲まれたコンクリートの少し急な道を行くとメジロがチュルチュル鳴いています。コンクリートの道では農作業の邪魔にならないよう、特にミカンの収穫時期は気をつけましょう。この場所は南側が開けていてタカ類の観察ポイントです。1時間ほ

ど歩くと鉄塔に着きます。ここは開けていて秋は野菊、冬はジョウビタキ、春はスミレやフデリンドウ、澄んだ日には高圧線越しに富士山も見られます。

さらに進むと石仏のあるピリ堂に着きます。夏はツリフネソウが群生しています。さらに手入れされた植林を通る階段を登って行く、ここはカラ類、ホオジロ類、そして冬はクイタダキなども観察できます。このあたりの土は黒くてさらさらしています。1707年富士山の宝永火口から噴出したもので宝永スコリアと呼ばれるものです。この植林地帯が終わると山頂は近い。山頂の手前はなだらかな登りで、開けていてモズがよく観察できます。山頂は広々としていて周囲はカヤトが広がり南側は箱根の山々が望めます。

下りは第六天を目指します。途中アブラチャンの林があり、春は黄色い小さな花が目を楽しませてくれます。廃バスのある開けた場所も観察ポイントで、上空はタカ



高松山山頂

コースタイム 6～7時間

高松山入り口～ピリ堂～高松山～尺里峠～田代橋～田代向バス停

地形図：1:25,000 秦野、山北 案内図：丹沢（昭文社）

季節

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----

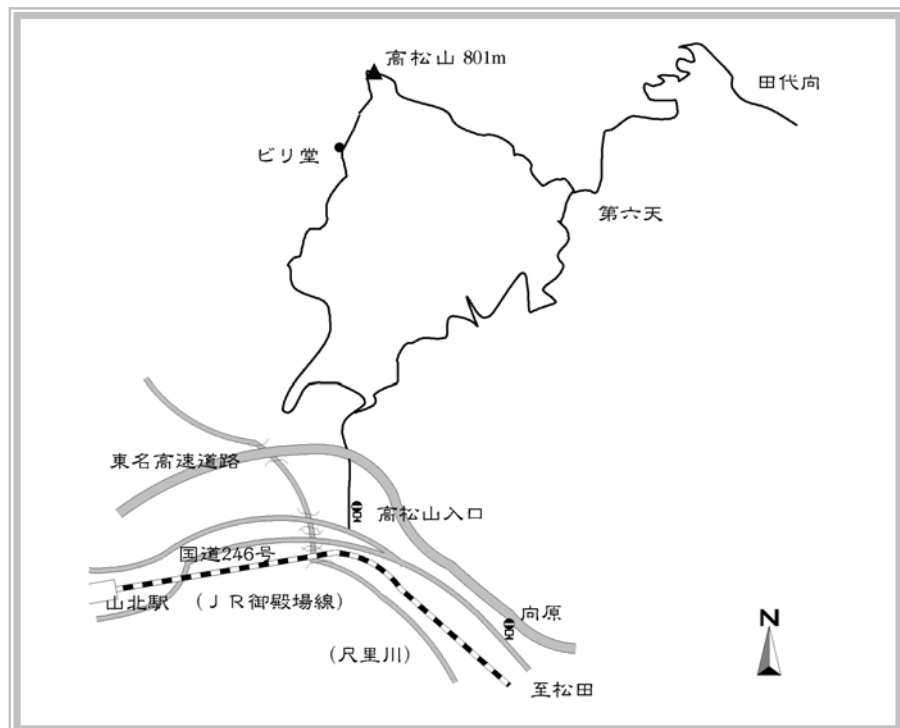
33.高松山（神奈川県西部 標高 801m）

類、斜面はツグミ類、ホオジロ類が観察できます。第六天から右に行くと高松山入口、左に行くと虫沢、田代向に出ます。ここでは田代向のコースを紹介します。林道に沿って桜並木が続きますが、スギが育って日当たりが悪いため病気や枯死している木が多い。その中に開けた場所に元気に育ったサクラがあり、3月にウソが観察で

きました。

茶畑の脇の虫沢遊歩道を通り、虫沢川、中津川沿いを歩くとサギ類、カモ類やヤマセミ、タヒバリなども観察できます。

帰りは田代橋を渡って田代向から新松田駅行きのバスに乗車します。本数が少ないので事前に調べておいた方が良いでしょう。（倉川典夫）



観察できた鳥

1998.4.12 ふれあい山岳探鳥会（26種）

オオタカ・クマタカ・カワガラス・ツグミ・ヤブサメ・ヒガラなど

1999.8～2000.3 に観察された種（53種）

ノスリ・チョウゲンボウ・イソシギ・アオバト・ホトトギス・アマツバメ・ヤマセミ・カワセミ・アオグラ・タヒバリ・カワガラス・ミソサザイ・ルリビタキ・ジヨウビタキ・アカハラ・シロハラ・キクイタダキ・カシラダカ・アオジ・ウソ・ガビチョウなど

2000.4.9 ふれあい山岳探鳥会（33種）

オオタカ・ノスリ・カワセミ・ツバメ・イワツバメ・ミソサザイ・ツグミ・エナガ・ヒガラ・ヤマガラ・アオジ・ウソ・シメなど

あし

- ・行き JR御殿場線松田駅／小田急線新松田駅下車 富士急行バス 西丹沢行き 高松山入り口
- ・帰り 田代向バス停 富士急行バス JR御殿場線松田駅／小田急線新松田駅行き
- ・交通機関問い合わせ先：ページ117参照